

## 新開発の G-Mesh(Ginza Mesh) を使った隆鼻術

池田 欣生<sup>1</sup> 森川 一彦<sup>1</sup>

Yoshio Ikeda<sup>1</sup>

Kazuhiko Morikawa<sup>1</sup>

東京皮膚科・形成外科 銀座院<sup>1</sup>

従来隆鼻術においてはシリコンやゴアテックス製のプロテーゼが用いられてきた。しかし長期フォローアップにおいては感染や術後拘縮などの欠点がある。我々は新素材 PCL (ポリカプロラクトン) をメッシュ状に加工したネオプロテーゼ、G-Mesh (GinzaMesh) を使用することによりメッシュ内に自身の細胞を誘導して患者自身の鼻を作ることに成功した。G-Mesh は針孔から挿入できるためにダウンタイムも少なく、かつ組織誘導後は2年間かけてなくなっていくために長期的結果も安全ともいえる。

今回我々は G-mesh の使用方法とその利点と欠点について報告する。